



イマジン
ロータリー

高岡 北
ロータリークラブ
TAKAOKA-NORTH
ROTARY CLUB



例会日・毎週月曜日 12:30～13:30	創立・1980年5月19日	会長 五十嵐 豊
例会場・ホテルニューオータニ高岡	認証・1980年6月12日	幹事 海下 巧
	国内創立順位・1489	公共イメージ委員長 山辺 知代

第 1868 回 例会 10 月 31 日 (月)

◇点 鐘

◇ソング “それこそロータリー”

◇ゲスト並びにビジターの紹介

ゲスト：国際ロータリー第2610地区ガバナー

黒川 伸一 様

富山第4グループ ガバナー補佐

阪口 政博 様

国際ロータリー第2610地区副幹事

毛利 一朗 様

米山記念奨学会 イクバル・トゥーバ 様

◇会長挨拶ならびに報告

皆さんこんにちは。今日は例会前に黒川ガバナー、阪口ガバナー補佐、毛利地区副幹事にいろいろと教を乞いました。特に継続事業を3つ、3年やって1年休みというサイクルを取っていますが、連続して行う方法があると教えていただきました。

コロナですが、高岡市は11/1から従来株とBA4・BA5株という、いわゆる二価ワクチン接種が開始される予定です。ワクチンはもう届いているのですが、ここにきて接種が落ち込んでおります。週末は増えるのですが、平日の接種はまばらです。予約センターにまとめることを提案していますが、実行されず、残量廃棄しております。もったいないです。11月20日過ぎに5回目のワクチン接種券が来るかもしれませんが、接種されたほうが良いと思います。正直、副反応は出ております。ただ、ウイルス感染でも同じ症状が出ますので、どちらによるものかははっきりしません。データ上はワクチン接種の確率の方が少ないので、受けておられたほうが安全かと思えます。

◇イクバル・トゥーバさんに奨学金をお渡しする

◇出席報告 出席者 21名 メイクアップ済 0名

名誉会員	会員数	本日の出席率	10/17例会修正出席率
1名	35名	75.0 %	67.86 %

◇幹事報告

- 1) 本日例会前に、黒川ガバナーと会長幹事懇談会を開催いたしました。
- 2) 次回11月7日(月)は18:30～ハロウィン夜間例会です。皆様、仮装してご参加ください。
- 3) 回覧：①11/7(月)「ハロウィン例会」の出欠確認表
②会報NO.12
③「Every Rotarian Every Year」バナー
④「100%ロータリー財団寄付クラブ」バナー

◇地区大会表彰が届きましたのでご報告いたします。

- ・ロータリー財団累積30万ドル達成クラブ
- ・長寿ロータリアン 金森 哲司 会員
- ・ロータリー在籍30年表彰 野尻 信晴 会員

◇ニコニコBOX報告

黒川ガバナー・阪口ガバナー補佐・毛利地区副幹事：

ガバナー公式訪問ニコBOX

五十嵐会長：ガバナー黒川伸一様、富山第4グループガバナー補佐阪口政博様、地区副幹事毛利一朗様をお迎えして。本日はよろしくお願ひ申し上げます。

海下幹事：黒川ガバナー、阪口ガバナー補佐、毛利副幹事、ようこそいらっしゃいました。貴重な協議ありがとうございました。

八塚昌俊君：黒川ガバナー、毛利地区副幹事、ガバナー公式訪問ご苦勞様です。卓話を楽しみにしています。

勝山 功君・宮田義弘君：黒川ガバナーをお迎えして
魚住晃一君：宮田さん村牧さん請求書お届けしました。今回こそ支払いをお願いします。郵送より高つきました。。

野尻信晴君：公園の市民会館が解体しております。私が50年前にステージのペンキ塗りのアルバイトをしたところです。【今年度ニコBOX累計額 228,000円】

◇本日のプログラム (担当：会長)



ガバナー公式訪問
「ロータリーと共に」
国際ロータリー第2610地区
ガバナー 黒川 伸一 様

2022-23年度 国際ロータリー2610地区へのメッセージ 「ロータリーと共に」

地区内クラブの支援を調査し
地区として、支援策を考え
地区として、行動を起こす

地区内クラブの支援を調査し、地区内64クラブのそれぞれの満足度を調査し、問題点があれば解決策を、クラブと一緒に模索する。

国際ロータリーの最重要課題

ポリオの根絶

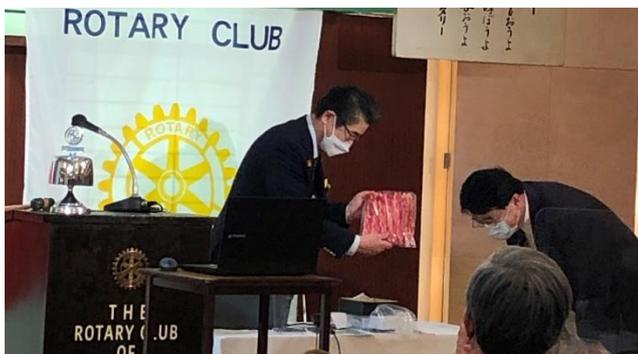
野生型ポリオウイルスの常在国は、パキスタンとアフガニスタンの2か国になり、現在発症数も減少してきており、引継ぎの支援は欠かせません
当地区においても、寄附のみならず支援の行動をしたいと考えます。

ガバナー公式訪問時に！

地区内64クラブ、次年度は64クラブ全てを、単独で訪問します。

その際、クラブメンバー全員に、折鶴を1人、1個、折って頂きます。

地区内2600余名のメンバーで、千羽鶴を2個作成し、パキスタンとアフガニスタンへ、持って行きたい。



地区組織について

○単独計画策定委員会○

ガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニ・ガバナー補佐・クラブ会長の、地区の特殊な問題を議論する。

○危機管理委員会○

各委員長と、外部有識者との危機管理について、確立する。

○ORLI委員会○

クラブ会長エレクトの研修の場としたい。

○会員増強委員会○

女性会員の比率アップを目指す。

○公共メヅ 向上委員会○

ロータリーが地域に根差した活動等を、メディア等に広めて行き、メンバーの意識を変えたい。

○職業奉仕委員会○

ロータリーの歴史から、脈々と流れる伝統等の認識を高め、今のロータリーへと繋げていきたい。

○社会奉仕・国際奉仕委員会○

R財団地区補助金を利用した行動を重視し、クラブ活性化を図りたい。

○国際青少年交換委員会○

ベルギー短期交換は、いまだにコロナの影響で中止したが、長期交換は7月からの実施を予定している。

○インターアクト委員会○

高校生の活動を支援し、一つでも多くの活動ができるようにしたい。

○ローターアクト委員会○

次年度より、アクトがロータリアンと同じ立ち位置になる。

アクトメンバーの意識の調査から、より良い方向性を見つける年度となる。

衛星クラブの設立を考えており、準備段階。

○ロータリー財団委員会○

地区補助金の申請が次年度分が、あまり考える期間も無く申請させられている感が大きく、次年度は、次年度の申請が、早く計画できるように、取り組みたい。

グローバル補助金は、新たに環境の部門が増えたので、広く地域に根差した申請を行いたい。

医療部門の派遣についても、次年度は実施できそう。

米山奨学記念奨学会委員会について、石川・富山の奨学生を支援し、広く地域に根ざした学友を育てたい。

地区ガバナー事務所の固定化で、米山・ロータリー財団・青少年交換等、事務手続きの固定化を図る。

将来的には、少人数のクラブに対して事務局の代行サービスも目指しており、クラブの支援をしたいと考えている。